

もっと楽しく グラバー園

グラバー園をパーティー・結婚式など、多彩なイベントでご利用になれます。歴史ある施設、最高のロケーションでの結婚式・パーティーはここに残るシーンを演出します。



- 多目的ご利用(貸切)のご案内**
- 利用可能日 夜間閉園期間を除く日
 - 利用時間 18:30~21:30
 - 料金 100,000円
 - 受付期間 ご利用日の1年前の月初めからご予約できます。
※長崎市民の方は6か月前からのご予約となります。
 - 申請方法 グラバー園利用許可申請書に企画書等を添付し、利用日の2週間前までに申請してください。

レトロ写真館 旧長崎地方裁判所長官舎内



ムードたつぷりのレトロ衣装の貸し出しを行っています。
(衣装貸し出し30分500円)
たくさんの衣装の中から、お気に入りの一着を選んで記念撮影や園内散策を楽しんでみませんか?
(※必ずカメラをご持参ください)

自由亭喫茶室

旧自由亭2階
港を一望できる、眺め抜群のお洒落な喫茶室。長崎にゆかりの深いオランダ人の手で考案されたタッチコーヒーはおすすめ。24時間、水で一滴ずつ抽出された薫り高く濃厚なコーヒーをご賞味ください。



グラバーガーデンショップ 長崎伝統芸能館出口



園内散策を終わったら、出口(長崎伝統芸能館1階)の売店でお土産選び。特にゆかりの深いイギリスからの輸入品をはじめ、さまざまなオリジナルグッズを取りそろえています。絵葉書からキーホルダー、お菓子まで、グラバー園の記念品はこちらでどうぞ。

車いすでも、園内散策を楽しんでいただけます。園内は車椅子用のリフトやスロープ、車椅子対応の多目的トイレを設置するなどバリアフリー化に努めています。電動車椅子の無料貸出しも行ってまいりますので、お気軽にご利用ください。なお、専用の駐車場も完備しております。

※表紙に西つ葉のクローバーがあります。探してみてください。(ヒントはねこの目線)

グラバー園
開園 8:00~18:00 (最終入園受付は20分前まで)
※4月29日~5月5日, 7月17日~10月9日 8:00~21:30 (同上)
料金 大人600円、高校生300円、小中学生180円
休園日 なし
〒850-0931 長崎県長崎市南山手町8番1号
TEL 095-822-8223 FAX 095-823-3359
<http://www.glover-garden.jp/>



日本の産業に貢献し、新しい時代への扉を開いた 長崎居留地の人々

造船、採炭、製茶貿易業を通して、わが国の近代化に貢献。国産ビールの育ての親、麒麟の髭はグラバーの髭。

スコットランド出身のグラバーは1859年、彼が21歳の時、開港と同時に長崎に渡来し、グラバー商会を設立しました。幕末の激動の時代の中、志士達を陰で支え、薩摩藩士らの英国留学を手伝うなど、若い人々への多大な援助を惜しみませんでした。また明治以降は経済人として、日本の近代科学技術の導入に貢献しています。とび色のひとみと赤い顔のため、彼が経営した炭鉱の坑夫からは「赤鬼」とあだ名されましたが、その性格は豪胆で情に厚く、使用人の子供にさえお土産を忘れないきめ細やかな愛情の持ち主だったようです。



Thomas Albert Glover 1870~1945



トーマス・ブレイク・グラバーの息子の倉場富三郎は、ホーム・リンガー商会に入社し、蒸気トロール漁船を導入して、日本の水産業の振興に大いに貢献しました。底引き網にかかる膨大な魚を見た富三郎は、私費を投じて日本四代魚譜にも数えられている「グラバー図譜」を完成させました。混血として生まれた富三郎は、内外倶楽部という外国人との親睦団体をつくり、日本初のパブリックコース・雲仙ゴルフ場の設立にも力を注ぎました。

倉場富三郎

わが国初のトロール漁業の導入と、不朽の大作「グラバー図譜」を製作して、水産県・長崎の近代化に貢献。

ロバート・ネール・ウォーカー



イングランド出身。1898年に長崎でウォーカー商会を設立。日本の海運業に大きな業績を残し、のちに日本初期の清涼飲料水メーカーも設立。長崎外国人居留地の実業界における中心的人物として活躍しました。たいへんな親日家で、自分のメーカーの商品にパンサイサイター、パンサイレモネードとネーミングを付けたほど。晩年はカナダへ移住し、息子のウォーカー・ジュニアに事業と邸宅を譲与。親子2代、70年にわたり長崎で暮らしました。

わが国の海運業界の近代化と清涼飲料のパイオニア

Yanosuke Iwasaki 1851~1908



三菱の創始者・岩崎弥太郎の弟である弥之助は、三菱の二代目社長として三菱財閥をつくり上げた人物です。兄の弥太郎とグラバーは長崎で深くかかわっています。弥太郎亡きあと、弥之助は終生グラバーと交友を続け、グラバーを三菱の相談役として招きました。旧スチール記念学校には、岩崎弥之助とグラバーが並んで写っている写真があります。

岩崎弥之助

三菱の二代目社長として三菱財閥をつくり上げた人物。



William Alt 1840~1905

ウイリアム・オルト

イングランド出身。開園とともに、いち早く長崎にわたりオルト商会を設立。長崎の大浦慶と提携して、九州一円から茶を買い求め輸出を行いました。製茶業で巨額の利益を得た彼は1865年に建てたオルト邸は本格的洋風建築ですが、これを建築したのは大浦天主堂も手かけた小山秀。一長崎は本当に美しいところで、これ以上美しい所を私は知らない。彼の妻エリザベスは、回想録に長崎の印象をこう書き残しています。

「オルトのパートナー 大浦慶」オルトが製茶・販売の事業で手を結んだ大浦慶は、長崎屈指の油問屋に生まれましたが16歳の時に大火事に見舞われて家が傾いてしまいました。しかし、25歳の時に茶の貿易を始め見事に家を再興させました。彼女は長崎三女大傑の一人として知られています。

Frederick Ringer 1838~1907



フレデリック・リンガー

イングランド出身。1864年頃に来日しグラバー商会に勤めた後、1868年、英国人のホーム氏と共にホーム・リンガー商会を設立。居留地の外国人と市民の交流の場、内外倶楽部を設立し、長崎の水道建設・貿易・代理店・製茶・製粉・発電など幅広い事業を行いました。彼が1898年に大浦海岸通り(旧香港上海銀行長崎支店記念館横)に建設した「ナガサキ・ホテル」は、当時アジアの一流ホテルとして名をはせました。

生涯にわたって対外貿易に従事。明治の長崎の経済界に君臨。

グラバー園

散策マップ



ようこそ! GLOVER GARDEN

ABCDEFGHIJKLM

探す

驚きもあれば、謎もある。グラバー園の不思議を探してください。

A 明治時代の水道共用柱

長崎市の水道は1891年(明治24年)に創設。当時は水道のほとんどが街路に立てられた共用柱で、市街水栓が朝に水を出し、夕方に止めに回っていました。



B 外国人居留地の境界

第2ゲート入口横には、かつて居留地の境を示していた石柱の数々と、三菱で使用していた錨(Stock Anchor)があるので注目!



C 高島流和砲

長崎が生んだ砲術家・高島秋帆指導のもと、鉄砲鍛冶、野川清造が製造したといわれる和製大砲です。



D フリーメイソン・ロッジ(集会所)の門

長崎に住んでいた英国人が住居の門柱として使ったもの。英国を発祥とする組織フリーメイソン(石工)のマークが刻まれています。



E 日本最古のアスファルト道路

三浦環像のある場所から、右斜めに向かって残っている道路の跡らしきもの。これは、グラバーの息子の倉場富三郎がつくらせた日本最古のアスファルト道路だといわれています。このあたりは、かつてテニスコートがあったらしく、南山手の斜面を切り開いてテニスコートをつくり、リンガー一家やグラバー家の人々はテニスを楽しんでいたのでしょう。



F 天然の崖をくり抜いた貯蔵庫

旧オルト住宅の裏には、天然の崖をくり抜いて作られた貯蔵庫があります。意外に中は広く、幅3メートル、奥行き9メートルもあります。常に20度くらいの温度を保つこの貯蔵庫は、暑い長崎において大変貴重なものでした。ここにとっておきのワインを貯蔵し、お客さんに振る舞っていたのかもしれない。



G 三浦環とプッチーニ像

世界三大オペラにも数えられる長崎を舞台にした歌劇マダム・バタフライ(蝶々夫人)。グラバー園内にはオペラを作曲したジャコモ・プッチーニの像とマダム・バタフライを演じて世界的に名をあげた三浦環の像が立っています。



H 姿が映せない鏡

旧グラバー住宅にある不思議な鏡。たぶん、ほとんどの人が鏡の前に立っても、姿は見ることができません。実はこの鏡、姿見ではなく、部屋を明るくするために設置されたものらしいです。



I 隠し部屋には坂本龍馬がいた?

グラバーの妻ツルが使っていた夫人部屋の廊下の天井には、恐ろしい隠し部屋があります。グラバーは倒幕派の薩摩藩、長州藩などに属し、国禁を犯し自分の船で薩摩の若者をイギリスに密航させたり、長州へ大量の武器を売っていました。グラバー住宅にはそんな幕末の志士たちが出入りし、密談を重ねていたのでしょう。



J コンニャク煉瓦って硬いの?軟らかいの?

旧グラバー住宅の台所の床に使われている煉瓦は、普通の煉瓦よりも薄くて、まるでコンニャクのような形をしています。縦にして並べて使っていたので、とても頑丈だそうです。



K キリンピールのラベルになったこま犬

ジャパン・ブルワリー・カンパニーというビール会社を発足させたグラバー。旧グラバー住宅の温室のそばに座っている愛嬌のあるこま犬が、その時のラベルに使われた麒麟の絵のモデルだといわれています。そしてその麒麟のヒゲはグラバーの口ひげを元にしたものとか...



L 船の出港時に使われていた大食堂のドラ

高島炭鉱との連絡船の出航時に使われていたドラが、なんと旧グラバー住宅の大食堂にあります。ここではもちろん食事の合図に使われていました。



M 300歳のソテツ

旧グラバー住宅の庭にある大きなソテツ。これは軍艦などの船舶の建造や仲介など、薩摩藩に尽くしたグラバーに薩摩藩主がプレゼントしたものとされています。樹齢300年、国内最大級のソテツです。



LEGEND

ハートストーン伝説

ハートの敷石にさわると恋がかなうとか、2つ見つけると良いことがあるとか、いろいろな説があります。1つは旧グラバー住宅の庭の方位盤の下にあります。もうひとつはレストハウスのそば!?



遠くスコットランドから渡来したトーマス・ブレイク・グラバーが南山手の丘に住まいを建設したのは1863年のこと。当時長崎の街は、日本の新しい夜明けを夢見る人々の熱気であふれていました。遠く大洋の波を超え、夢を抱いてやってくる異国の商人たち、倒幕の野望に燃える幕末の志士たちや、西洋の学問を志す日本の若者たち。あれから100年以上たった今も、ここにはグラバーたちが暮らした当時の記憶が、共に長崎を愛し長崎に暮らした貿易商たちの邸宅が、形を変えることなく残されています。ノスタルジックな時間の散策を、どうぞお楽しみください。

見る

見どころいっぱい、ロマンあふれる歴史の舞台



① 旧三菱第2ドックハウス

「ドックハウス」とは修理のために船が造船所に入っている間、乗組員たちが宿泊した施設のこと。明治29年に造られた典型的な西洋風建築で、上下のペランダを8本の柱が支えています。ペランダからは長崎のすばらしい景色が眺められます。



② 旧長崎高商表門衛所

明治から昭和初期にかけて日本の経済分野の高等教育を担った国立高等商業学校(長崎高商)創立時の表門衛所を移築復元したものです。モダンな装飾の中に障子の間があり和洋折衷の造りになっています。



③ 旧長崎地方裁判所長官舎

明治16年、長崎市の上町に建てられた長崎地方裁判所長の官舎。居留地の外側に建てられた洋風の官庁建築として長崎で唯一残る貴重な建物です。内部は日本人の設計によるもので、板張りの洋間と畳敷きの居間があります。



④ 旧ウォーカー住宅

イギリス人実業家、ロバート・ネール・ウォーカーの次男が暮らしていたこの家は、明治中期、大浦天主堂のすぐ隣に建てられました。屋根から突き出した日本風の庇(ひさし)など、細部に日本趣味が反映されています。



⑥ 旧オルト住宅 国指定重要文化財

長崎に残る石造りの洋風住宅の中で最も大きいものが旧オルト住宅。大浦天主堂、旧グラバー住宅を手掛けた小山秀によって施工。港に向かって突き出した切妻屋根のポーチ、広いペランダを支える天草石の列柱が見事に華麗な建物です。



⑧ 旧自由亭

江戸時代の終わりが、日本で初めて西洋料理のレストランとして伊良林(いらばやし)の神社前にオープン。創立者の草野丈吉は出島のオランダ人のもとで修業し、大いに料理の腕を上げたといわれています。現在2階は喫茶室。



⑩ 長崎伝統芸能館

長崎のお祭り「長崎くんち」に奉納される龍踊りの白龍、青龍、各町の奉納踊りを先導する「傘鉾(かさぼこ)」と呼ばれる豪華な飾りなどが展示されており、長崎くんちの映像も放映されています。



⑤ 旧リンガー住宅 国指定重要文化財

明治初期に建てられた三方をペランダで囲まれたバンガロー形式の建物。ペランダの床石には、ウラジオストクから運んだ御影石、ペランダの屋根を支える角柱には天草の石を使用。木と石が調和した珍しい木骨石造です。



⑦ 旧スタイル記念学校

明治20年、東山手の丘に建てられたミッション系の学校。1階にはグラバーファミリーの写真や日本四大魚譜のひとつである「グラバー図譜」2階には長崎の洋館等を題材にした田川憲の版画等が展示されています。



⑨ 旧グラバー住宅 国指定重要文化財

1863年に建てられた、日本最古の木造西洋風建築。正面玄関を飾らないクローバー形の建築は、南国のバンガローをイメージさせます。住宅内には、グラバーと妻ツルの写真、犬の彫刻が施された愛用のステッキ等が展示されています。